

銭湯の壁面の絵で「猿」「夕日」「紅葉」は描いてはいけない3つのタブーとされています。「猿」は「客が去る」。「夕日」は「景気が落ちる」「家業が沈む」。「紅葉」は葉っぱが赤くなって落ちるので「赤字」を連想させるというわけです。定番の「富士山」は「末広がり」の形が縁起がよいとして、人気を呼んだようです。

知っどこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【固定資産税が6倍になるかも！？】

「固定資産税」は、誰もが耳にしたことのある税金のひとつではないでしょうか。しかしその計算方法や節税方法について詳しく知っている人は少ないかもしれません。固定資産税は課税標準額に1.4%の税率を乗じて



計算します。この課税標準額を減額する方法のひとつに住宅用地特例という措置があります。これは住宅用地のうち住宅1戸につき200平米までの部分を「小規模住宅用地」といい、課税標準額が評価額の6分の1となる制度です。しかし2023年12月13日に施行された法律により、空き家を所有している人で、次の場合にはこの特例措置を受けられないこととなりました。それは空き家の管理を適切にしておらず、倒壊の恐れや衛生面の危険性など近隣への被害が懸念される「特定空き家」に指定された場合や、その前段階の「管理不全空き家」として行政から勧告を受けたにもかかわらず、改善がなされなかった場合です。そのため必要に応じて売却、取り壊し、賃貸などの選択肢を検討してみましょう。

光を放つ 名言コラム

【つまりやりたくない】

7年かけて比叡山を巡る「千日回峰行」など厳しい修行をやり遂げた藤波源信氏。「続けること」をテーマにした朝日新聞のインタビューで「やりたいたいと言いながら行動に移せないのは、つまりやりたくないんです。それは“なまけ心”です」と語っていました。ジョギングしている人を見て自分も走ろうと思ひ、仕事ができる人を見て負けなぞと思う。そこで一念発起して行動するのが理想ですが、やりたくなかったからやめるというのも、実はそう悪いことではないようです。やるにせよ、やらないにせよ、なまけ心も含めて自分の本音に正直でいるほうが、体と心の健康にいい場合もあるからです。やりたいことだが大変なら、続けられるように計画を立てましょう。やりたくないが必要だからやるのであれば、エンジンをぶらさげてもいい。やらないならエネルギーを他に回せます。三日坊主も繰り返せば、立派な継続なのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【cut】

6月から定額減税が実施されますね。「減税」は“tax cut”といいます。「カット」という言葉は、髪を「切る」や、紫外線を「遮断する」などの際にも使われるくらい、日本語でもなじみがあります。この“cut”の後ろに「人+off」を付けると「断つ・さえぎる・切り離す・勘当する」などの意味になります。“Don't cut me off! I'm still talking!”は「話をさえぎらないで！まだ私がしゃべっているんだから！」、「My dad cut me off.”「父さんに勘当されたよ」といった具合です。

お米を炊くときは、沸騰するまでの時間が長いほうが甘みは増し、よりおいしくなるといわれています。そこで炊飯器でお米を炊くときに水を入れてみましょう。水の量は、1合につき水のキューブ1個が目安です。その際に氷の分だけ水の量を減らすのを忘れなく。



才人の言葉

壁は全て
自分が作っている

日本の解剖学者・作家である養老孟司
の言葉。もしも壁ができたなら「逃げる」
でも「乗り越える」でもなく「楽しむ」
はどうだろう。本物の自信が育つかも
しれない。

振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【世間は何を見ているか？】

会社の衰退の要因は色々ありますが、その中でも「社員の姿勢」は重要な役割を果たします。特に「素直さ」や「誠実さ」に欠ける姿勢は結果的に顧客軽視となり、会社の命運を左右することがあります。素直さとは、新しい知識や技術を学び、自己改善を図る基盤です。素直でない社員は批判を受け入れられず、成長の機会を逃します。これは組織全体の進歩を妨げる要因となり得ます。誠実さは、信頼関係の構築に不可欠です。誠実でない社員は、同僚や顧客との信頼を築くことができず、結果としてチームワークや顧客満足度の低下を招きます。ここまで読んで、特定の社員の顔が浮かんだ人もいませんか。「だからあいつは顧客のウケが悪いし、そのせいで会社の評判が下がっている」といった感じでしょうか。けれど周囲や世間の人、あなたと違った見方をしているかもしれません。すなわち、社員の姿勢は経営者の姿勢。一番見られているのは経営者自身というわけです。では、経営者にとっての素直さ、誠実さとは何でしょうか。まず素直さは、自分の意見や考えに固執せず、他者の意見や新しい情報を受け入れる柔軟性だと思います。こうした姿勢の経営者は、常に学び、自己改善に励み、組織の成長に貢献しているのではないのでしょうか。次に誠実さは、言動が一致して、正直で公正な行動を取ることだと思います。誠実な経営者は、社員のみならず、顧客やビジネスパートナーとも三方よしの関係を築いているように思います。キャリアが長くなればなるほど失われがちな素直さ、誠実さですが「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」の姿勢でありたいものですね。



キャリアが長くなればなるほど失われがちな素直さ、誠実さですが「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」の姿勢でありたいものですね。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【シンギュラリティー】

人工知能(AI)が人間の能力を超える転換点を指す。「技術的特異点」とも呼ばれ、第一人者として知られるレイ・カーツワイル氏は、2045年にシンギュラリティーに到達すると予測した。技術開発のスピードや、その範囲が飛躍的に向上すると予想される反面、社会や経済に対する影響や倫理的な問題などが懸念される。

トナリの本棚

【あのとき売った本、売れた本】

紀伊國屋書店の名物書店員・小出和代のベストセラー回顧録。無名時代の東野圭吾や『ハリー・ポッター』の買い取り裏話など本好きにはたまらない一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所 

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>